

課題に取り組む⑦

2010/10/31

初代教会最大の課題「殉教」

- ステパノの殉教（使徒7章）
 - ユダヤ人たちによる私刑（石打ち）
- 祭司长・律法学者たちによる迫害
 - パウロはその急先鋒だった
- 使徒ヤコブの殉教（使徒12章）
 - ヘロデ王の人気取りの手段として殺される
- 宣教者たちは行く先々で迫害されたが、キリストの福音はローマ帝国全体に広まった

ローマ皇帝による迫害

- ネロ(54—68年在位)
 - パウロとペトロが殉教
- ドミティアヌス(81—96年)
 - 使徒ヨハネが流刑になる
- トラーヤーヌス(98—117年)
- マールクス・アウレーリウス他6人
- ディオクレティアヌス(284—305年)
 - 迫害4勅令を發布し大迫害を行った

殉教を超えて

- カタコンベ(地下墓地・礼拝所)
 - ローマには大小35あり, 総延長約600キロに及ぶ
- コンスタンティヌスは313年「ミラノ勅令」を
発布してキリスト教を公認した
- 何千何万という殉教者の
死により, 教会は
信仰の自由を勝ち取った



日本におけるキリスト教迫害

- 1549年、フランシスコ・ザビエルによってはじめてキリスト教が伝えられる
- 「キリシタン大名」なども現れ、数万から数十万人のクリスチャンが生まれた
- 豊臣秀吉による「バテレン追放令」を皮切りに、徳川幕府による組織的で徹底的なキリスト教迫害が行われ、多くの殉教者が起こった。
- 明治6年に禁教政策は撤廃されたが、第2次大戦まで様々な形で迫害は続いた

キリストによる迫害の予告

- 迫害される者は幸いな者
 - 「わたしの名のために、あなたがたはすべての人に憎まれる。しかし、最後まで耐え忍ぶ者は救われる。」<マタイ10:22 >
 - 「わたしのためにこののしられ、迫害され、身に覚えのないことであらゆる悪口を浴びせられるとき、あなたがたは幸いである。」<5:11 >
- 迫害する者のために祈れ
 - 「敵を愛し、自分を迫害する者のために祈りなさい。」<5:44 >

使徒たちの教え

■ パウロの覚悟

- 「わたし自身は、既にいけにえとして献げられています。世を去る時が近づきました。... 今や、義の栄冠を受けるばかりです。」〈2テモテ4:6,8〉

■ ペトロの覚悟

- 「愛する人たち、あなたがたを試みるために身にふりかかる火のような試練を、何か思いがけないことが生じたかのように、驚き怪しんではなりません。むしろ、キリストの苦しみにあずかればあずかるほど喜びなさい。」〈1ペトロ4:12-13〉

死を乗り越える教え

「この朽ちるべきものが朽ちないものを着、この死ぬべきものが死なないものを着るとき、次のように書かれている言葉が実現するのです。『死は勝利にのみ込まれた。死よ、お前の勝利はどこにあるのか。死よ、お前のとげはどこにあるのか。』死のとげは罪であり、罪の力は律法です。わたしたちの主イエス・キリストによってわたしたちに勝利を賜る神に、感謝しよう。」
<1コリント15:54-57>